

はじめに

SDGsはこれからの時代に必須の知識

みなさんは、SDGsという概念をどの程度認識しているでしょうか。外務省のホームページによると、SDGs（Sustainable Development Goals）とは「持続可能でよりよい世界を目指す国際目標」です。日本語を母国語とする人にとって、「持続可能な」と訳されたSustainableという言葉は耳慣れず、その意味することがすぐに腑に落ちるものではないかもしれません。

2030年をゴールとするSDGsは2030年のその先を見つめた開発目標です。貧困、飢餓、紛争など、世界で起きているさまざまな課題を解決しなければ、人間がこの先生きていくのは難しいという危機感に、世界中の人が賛同して生まれました。その内容を知るほどに「より良い世界を目指す」には、現状維持だけではとうてい難しいと感じ、現在どこかにある「繁栄」が、世界のすべての人に恩恵をもたらしているとは言えないのだと訴えかけてきます。しかも今現在「繁栄している」と感じている人も、それは持続可能なものでしょうか？

SDGsを知るきっかけは、ささいなことかも知れません。「最近ニュースでさかんにSDGsという言葉を目にするから調べてみた」「事業としてSDGsに取り組むように業務命令が出たから仕方なく」「貧困や飢餓は遠い国の問題だと思っていたけれど、一緒に働く外国人から母国の現状を聞いて身近に感じた」など、さまざまな理由があることでしょう。どんなきっかけであれSDGsを知ることは、自分自身の「持続可能な開発」に取り組むことであると気づきます。

本テキストでは、前半でSDGsの基礎知識について述べています。SDGsが採択されるきっかけとなったMDGsを知ると、SDGsの重要性がより明確になり、今ある課題も時々刻々とその形が変化するであろうことが予測できます。そこでテキスト後半ではさまざまな立場の方々が、その専門性や仕事・生活で関わる領域などを通してSDGsに貢献するヒントとなるように、日本政府や日本企業の各分野がSDGsに取り組む事例を取り上げました。

SDGsが突きつけてくる世界の現状を知ったとき、絶望するのではなく、持続可能な発展ができる世界への道筋を見出してほしいと願います。

目次とスケジュール

それではテキスト学習に入ります。途中で投げ出したりしないために、計画を立ててから取り組みましょう。自分自身のペースに合わせて無理のない計画を立てましょう。

1日2項目を学習するのが平均的なスケジュールです。

は、診断で間違ったところやこれは特に重要だ、覚えておきたいという項目をチェックするために使いましょう。

章	内 容	P	予定日	終了日
1	SDGs とはなにか	10		
	<input type="checkbox"/> 1 SDGs とはなにか	10	/	/
	<input type="checkbox"/> 2 SDGs をひとことで言うと	11	/	/
	<input type="checkbox"/> 3 SDGs がはじまるまで	12	/	/
	<input type="checkbox"/> 4 MDGs と何が違うのか	13	/	/
	<input type="checkbox"/> 5 SDGs の達成を誰が決めていくか	14	/	/
2	SDGs の 17 項目とは	15		
	<input type="checkbox"/> 6 SDGs 17 の目標	15	/	/
	<input type="checkbox"/> 7 169 のターゲットとは何か	16	/	/
	<input type="checkbox"/> 8 貧困をなくそう 概要	17	/	/
	<input type="checkbox"/> 9 貧困をなくそう 現状と具体的な対策	18	/	/
	<input type="checkbox"/> 10 目標 1 に対するターゲット	19	/	/
3	SDGs2 ~ 3	20		
	<input type="checkbox"/> 11 飢餓をゼロに 概要	20	/	/
	<input type="checkbox"/> 12 飢餓をゼロに 現状と具体的な対策	21	/	/
	<input type="checkbox"/> 13 すべての人に健康と福祉を 概要	22	/	/
	<input type="checkbox"/> 14 すべての人に健康と福祉を 現状と具体的な対策	23	/	/
	<input type="checkbox"/> 15 目標2と3に対するターゲット	24	/	/
4	SDGs4 ~ 5	25		
	<input type="checkbox"/> 16 質の高い教育をみんなに 概要	25	/	/
	<input type="checkbox"/> 17 質の高い教育をみんなに 現状と具体的な対策	26	/	/
	<input type="checkbox"/> 18 ジェンダー平等を実現しよう 概要	27	/	/
	<input type="checkbox"/> 19 ジェンダー平等を実現しよう 現状と具体的な対策	28	/	/
	<input type="checkbox"/> 20 目標4と5に対するターゲット	29	/	/
5	SDGs6 ~ 7	30		
	<input type="checkbox"/> 21 安全な水とトイレを世界中に 概要	30	/	/
	<input type="checkbox"/> 22 安全な水とトイレを世界中に 現状と具体的な対策	31	/	/
	<input type="checkbox"/> 23 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 概要	32	/	/
	<input type="checkbox"/> 24 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 現状と具体的な政策	33	/	/
	<input type="checkbox"/> 25 目標6と7に対するターゲット	34	/	/

目次とスケジュール

章	内 容	P	予定日	終了日
6	SDGs8～9	35		
	<input type="checkbox"/> 26 働きがいも経済成長も	35	/	/
	<input type="checkbox"/> 27 働きがいも経済成長も 現状と具体的な対策	36	/	/
	<input type="checkbox"/> 28 産業と技術革新の基盤をつくろう 概要	37	/	/
	<input type="checkbox"/> 29 産業と技術革新の基盤をつくろう 現状と具体的な対策	38	/	/
	<input type="checkbox"/> 30 目標8と9に対するターゲット	39	/	/
7	SDGs10～11	40		
	<input type="checkbox"/> 31 人や国の不平等をなくそう 概要	40	/	/
	<input type="checkbox"/> 32 人や国の不平等をなくそう 現状と具体的な対策	41	/	/
	<input type="checkbox"/> 33 住みつけられるまちづくりを 概要	42	/	/
	<input type="checkbox"/> 34 住みつけられるまちづくりを 現状と具体的な対策	43	/	/
	<input type="checkbox"/> 35 目標10と11に対するターゲット	44	/	/
8	SDGs12～13	45		
	<input type="checkbox"/> 36 つくる責任 つかう責任 概要	45	/	/
	<input type="checkbox"/> 37 つくる責任 つかう責任 現状と具体的な対策	46	/	/
	<input type="checkbox"/> 38 気候変動に具体的な対策を 概要	47	/	/
	<input type="checkbox"/> 39 気候変動に具体的な対策を 現状と具体的な対策	48	/	/
	<input type="checkbox"/> 40 目標12と13に対するターゲット	49	/	/
9	SDGs14～15	50		
	<input type="checkbox"/> 41 海の豊かさを守ろう 概要	50	/	/
	<input type="checkbox"/> 42 海の豊かさを守ろう 現状と具体的な対策	51	/	/
	<input type="checkbox"/> 43 陸の豊かさを守ろう 概要	52	/	/
	<input type="checkbox"/> 44 陸の豊かさを守ろう 現状と具体的な対策	53	/	/
	<input type="checkbox"/> 45 目標14と15に対するターゲット	54	/	/
10	SDGs16～17	55		
	<input type="checkbox"/> 46 平和と平等をすべての人に 概要	55	/	/
	<input type="checkbox"/> 47 平和と平等をすべての人に 現状と具体的な対策	56	/	/
	<input type="checkbox"/> 48 パートナーシップで目標を達成しよう 概要	57	/	/
	<input type="checkbox"/> 49 パートナーシップで目標を達成しよう 現状と具体的な対策	58	/	/
	<input type="checkbox"/> 50 目標16と17に対するターゲット	59	/	/
	<input type="checkbox"/> 添削課題		/	/

目次とスケジュール

章	内 容	P	予定日	終了日
11	日本における SDGs	62		
	<input type="checkbox"/> 51 日本の SDGs 貢献について①	62	/	/
	<input type="checkbox"/> 52 日本の SDGs 貢献について②	63	/	/
	<input type="checkbox"/> 53 日本が得意とする分野	64	/	/
	<input type="checkbox"/> 54 日本が苦手とする分野	65	/	/
	<input type="checkbox"/> 55 日本におけるユニークな取り組み事例	66	/	/
12	政府による 8 つの優先課題①	67		
	<input type="checkbox"/> 56 8 つの優先課題とは	67	/	/
	<input type="checkbox"/> 57 ①あらゆる人々の活躍の推進	68	/	/
	<input type="checkbox"/> 58 ②健康・長寿の達成	69	/	/
	<input type="checkbox"/> 59 ③成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション	70	/	/
	<input type="checkbox"/> 60 ④持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備	71	/	/
13	政府による 8 つの優先課題②	72		
	<input type="checkbox"/> 61 ⑤省エネ・再エネ、気候変動対策、循環型社会	72	/	/
	<input type="checkbox"/> 62 ⑥生物多様性、森林、海洋等の環境の保全	73	/	/
	<input type="checkbox"/> 63 ⑦平和と安全・安心社会の実現	74	/	/
	<input type="checkbox"/> 64 ⑧ SDGs 実施推進の体制と手段	75	/	/
	<input type="checkbox"/> 65 優先課題を実行するために	76	/	/
14	SDGs と企業の関わり	77		
	<input type="checkbox"/> 66 企業の貢献なしには達成できない SDGs	77	/	/
	<input type="checkbox"/> 67 企業行動憲章と SDGs	78	/	/
	<input type="checkbox"/> 68 SDGs 開発委員会が企業に求めるアクション	79	/	/
	<input type="checkbox"/> 69 企業が SDGs に取り組むメリット	80	/	/
	<input type="checkbox"/> 70 企業の取り組み事例	81	/	/
15	企業が SDGs をはじめるにあたって	82		
	<input type="checkbox"/> 71 SDGs コンパスを参照しよう	82	/	/
	<input type="checkbox"/> 72 ESG との関わりを意識する	83	/	/
	<input type="checkbox"/> 73 自社の現状を把握する	84	/	/
	<input type="checkbox"/> 74 どのようにして周囲を巻き込むか	85	/	/
	<input type="checkbox"/> 75 SDGs ウォッシュに注意する	86	/	/

目次とスケジュール

章	内 容	P	予定日	終了日
16	SDGsの取り組みを導入するまで	87		
	<input type="checkbox"/> 76 SDGsの目標から逆算して、自社の取り組みを決める	87	/	/
	<input type="checkbox"/> 77 経営理念と統合する	88	/	/
	<input type="checkbox"/> 78 世代間のギャップをどう埋めるか	89	/	/
	<input type="checkbox"/> 79 部署ではなくグループからはじめる	90	/	/
	<input type="checkbox"/> 80 営業提案にSDGsを入れる	91	/	/
17	企業ができるSDGsの取り組み①	92		
	<input type="checkbox"/> 81 企業ができるSDGsの取り組み① SDGs1、2	92	/	/
	<input type="checkbox"/> 82 企業ができるSDGsの取り組み① SDGs3、4	93	/	/
	<input type="checkbox"/> 83 企業ができるSDGsの取り組み① SDGs5	94	/	/
	<input type="checkbox"/> 84 企業ができるSDGsの取り組み① SDGs6、7	95	/	/
	<input type="checkbox"/> 85 企業ができるSDGsの取り組み① SDGs8	96	/	/
18	企業ができるSDGsの取り組み②	97		
	<input type="checkbox"/> 86 企業ができるSDGsの取り組み② SDGs9、10	97	/	/
	<input type="checkbox"/> 87 企業ができるSDGsの取り組み② SDGs11、12	98	/	/
	<input type="checkbox"/> 88 企業ができるSDGsの取り組み② SDGs13、14	99	/	/
	<input type="checkbox"/> 89 企業ができるSDGsの取り組み② SDGs15、16	100	/	/
	<input type="checkbox"/> 90 企業ができるSDGsの取り組み② SDGs17	101	/	/
19	業種別SDGsの貢献チャンス①	102		
	<input type="checkbox"/> 91 業種別SDGsの貢献チャンス① 製造（食品）	102	/	/
	<input type="checkbox"/> 92 業種別SDGsの貢献チャンス① 製造（繊維）	103	/	/
	<input type="checkbox"/> 93 業種別SDGsの貢献チャンス① 製造（化学工業）	104	/	/
	<input type="checkbox"/> 94 業種別SDGsの貢献チャンス① 製造（金属）	105	/	/
	<input type="checkbox"/> 95 業種別SDGsの貢献チャンス① 製造（電子機器）	106	/	/
20	業種別SDGsの貢献チャンス②	107		
	<input type="checkbox"/> 96 業種別SDGsの貢献チャンス② IT・通信・インターネット	107	/	/
	<input type="checkbox"/> 97 業種別SDGsの貢献チャンス② 金融	108	/	/
	<input type="checkbox"/> 98 業種別SDGsの貢献チャンス② 運輸・流通	109	/	/
	<input type="checkbox"/> 99 業種別SDGsの貢献チャンス② 小売業	110	/	/
	<input type="checkbox"/> 100 業種別SDGsの貢献チャンス② 観光	111	/	/
	<input type="checkbox"/> 添削課題		/	/

SDGsとはなにか

学習のポイント

POINT ① SDGsとは世界中の様々な問題に起因する危機感から生まれた。

POINT ② SDGsの目標は、一部の地域や国に限るものではなく、世界中の誰にも関わる問題である。

気候変動、人口の爆発的な増加、貧困、地域の紛争問題など、世界にはさまざまな問題があります。それらの問題は、地域や国によって異なりますが、たとえば気候変動の問題などは、一つの国や地域だけでは解決できない問題です。

このままでは人間は生きていけないのではないかと、地球規模で長期的な視点に立って何とかしなければ、という危機感から生まれたのがSDGs（エスディーゼーズ）/ Sustainable Development Goals、「持続可能な開発目標」です。SDGsは2015年9月25日の国連サミットで、2030年までの目標として採択されました。持続可能な世界を実現させる17のゴールと169のターゲットで構成されています。

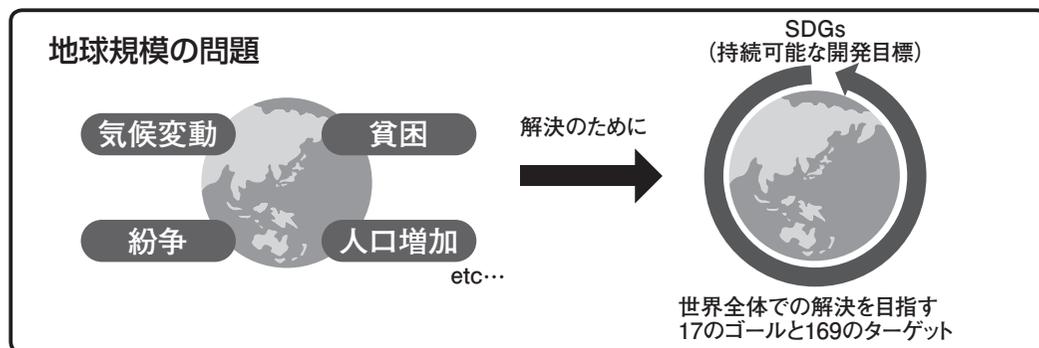
具体的に、SDGsの視点で気象問題を見ていきましょう。2019年5月に開催された「気候行動サミット」では、現在の世界の平均気温は19世紀半ばから見ると1.1℃上昇し、2015年から現在までの平均気温はそれ以前の平均気温より0.2℃上昇したという報告があります。気温上昇は海面上昇をもたらし、南極やグリーンランドの

氷は大量に溶け、海面上昇に拍車をかけているというレポートもあります。

地球温暖化による熱は90%以上が海に吸収されていますが、2018年に海洋に貯蓄された熱量は観測史上最高だったという世界気象機関（WMO）のデータもあります。世界中で大きな被害を出している大型台風やハリケーンなどの熱帯低気圧も、温暖化と密接な関係があるとされています。

気候変動は農業や漁業に影響を与え、それは世界の食糧問題と直結します。食糧不足は貧困と結びつき、地域の紛争を引き起こします。しかも100年単位で変動する異常気象のような問題は、一つの国・地域の一朝一夕の政策ではどうも解決できそうにありません。さらにグローバル化が進み、人の流れがボーダレス化する現代では、一つの地域や国の問題が「世界中の誰にとっても関係のある問題」となります。

このようにSDGsは「世界中の誰一人として取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。



SDGsをひとことと言うと

学習のポイント

POINT 1 世界的な規模で人々が発展するための、17項目の具体的な目標である。

POINT 2 17目標の1つを实践するのではなく、関連するものを組み合わせて考える。

SDGsをひとことと言うと、「世界中の皆が発展・成長し、その成果を継続させていこう」という目標です。解決すべき問題の種類を17項目に分け、それぞれの問題解決となる目標を次のように決めています。

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
- 8 生きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさも守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に

17 パートナリシップで目標を達成しよう

世界中で起きている問題には互いに因果関係があり、影響を及ぼし合っています。

たとえばある地域の豊かな生活のために、開発途上国の豊富な資源を開発し、その国の子どもたちが安い賃金で労働を強いられる状況があります。これでは目標16の「平和と公正」は成り立たず、目標17の「パートナーシップ」を結ぶことはできません。あるいは目標11のような「住み続けられるまちづくり」は、誰か一人の利益だけを考えると実現できず、数ヶ月、1年といった短い期間で成し遂げることはできません。また、一つの国や地域、特定の年齢層や性別にとってのみ利益があるという考え方では、17項目はとうてい実現不可能です。

各目標には、実現すべき具体的な「ターゲット」が設けられ、達成目標を「2030年度」としています。つまり「2030年度以降も持続可能な発展を遂げよう」がSDGsを貫く目標なのです。



SDGsがはじまるまで

学習のポイント

POINT ① 将来世代のニーズを損なわず、現在の世代のニーズを満たすことが求められる。

POINT ② 2000年に制定されたMDGs(ミレニアム開発)が2015年にSDGsになった。

「持続可能性」の基となるのは、「成長の限界(The Limit to Growth)」という言葉です。これはスイスの民間シンクタンク「ローマクラブ」が1972年に公表した報告書にある「このまま人口増加や環境汚染が続けば、資源は枯渇し、あと100年で人類の成長は限界に達する」という警鐘です。

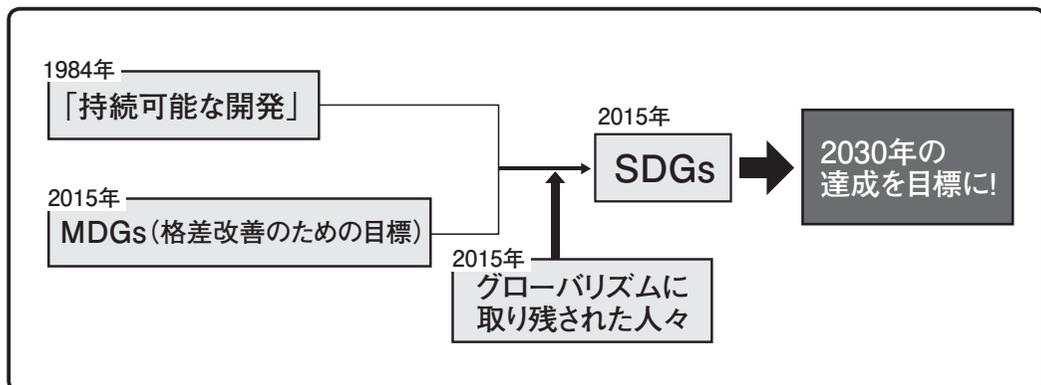
1970年代は「環境を犠牲にしても経済開発をすべき」とする開発途上国と「環境保全を優先すべき」という先進国の間で対立がありました。1972年には世界初の環境に関する国際会議「国連人間環境会議」がストックホルムで開催され、「かけがえのない地球」をスローガンに「人間環境宣言」が採択されます。

1984年には、国連に「環境と開発に関する世界委員会」が設置され、1987年の報告書「Our Common Future／邦題『我ら共有の未来』」において「持続可能な開発」の概念が打ち出されました。これは「将来世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすこと」で

す。そして、従来は個別に議論されていた環境問題と経済問題は、切り離して考えられない問題であるという提言です。

「持続可能な開発」という概念は、1992年の通称「地球サミット」に受け継がれ、気候変動枠組条約締約国会議が始まり、京都議定書やパリ協定につながります。

やがて国連は、2000年にミレニアム開発目標(Millennium Development Goals)を採択します。MDGsは2015年を目標に、開発途上国の貧困・教育・健康・環境などを改善する8つのゴールを掲げています。しかしゴールと定められた21世紀に入ると、人権問題や教育格差など、グローバルズムに取り残された人々の問題が浮き上がります。問題解決のためには、先進国による援助供給型の資金だけでは足りないことも明らかになり、「ポスト2015開発アジェンダ」が策定され、2015年、SDGsが誕生します。



MDGsと何が違うのか

学 習 の ポ イ ン ト

POINT ① MDGsの成果と、「取り残された人々」の状況を踏まえてSDGsが誕生した。

POINT ② MDGsの対象国は開発途上国のみだったが、SDGsでは先進国も加えられている。

2000年9月、国連ミレニアムサミットに参加した189の国によって採択された「国連ミレニアム宣言」がMDGsです。達成期限は2015年です。一方、2015年に定められたSDGsは、MDGsに向けた15年間の取り組みの結果の成果と課題を見つめ直し、2030年を期限として再構築された開発目標です。

MDGsには8つの目標が定められています。

- 1 極度の貧困と飢餓の撲滅
- 2 普遍的初等教育の達成
- 3 ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
- 4 乳幼児死亡率の削減
- 5 妊産婦の健康の改善
- 6 HIV／エイズ、マラリア その他の疾病の蔓延防止
- 7 環境の持続可能性の確保
- 8 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

MDGsで最も成果をあげたのは、目標1の「極

度の貧困」の解消です。1日1ドル25セント未満で生活する人の数は1990年の19億人から、2015年の8億3600万人と半数以下に減少しました。一方で南アジアやサハラ以南のアフリカには、極度の貧困にいる人々の80%が暮らしています。また、開発途上国の3分の2以上で、初等教育の就学率の男女格差が解消されましたが、格差が解消されていない開発途上国のうち、56%がサハラ以南アフリカの国々でした。

つまり、MDGsの達成目標を国や地域などで見るとさまざまな格差が浮き彫りとなり、「取り残された人々」の存在が明らかとなったのです。

そこでSDGsは、「世界中の誰一人として取り残さない」を柱として、各国・地域の事情にも注目しました。また、年齢や性差に配慮するため、MDGsの対象国が開発途上国であったのに対して、SDGsは先進国も加えられています。

目標数はMDGsの8からSDGsの17へ、ターゲットも21から169に増加して、「持続可能な開発目標」が扱う範囲が広がりました。

	MDGs	SDGs
目 標 数	8	17
タ ー ゲ ッ ト	21	169
対 象 国	開発途上国	開発途上国と先進国
策定プロセス	国連からのトップダウン	各国で交渉し国際協力を行う形のボトムアップ

SDGsの達成を誰が決めていくか

学習のポイント

POINT ① SDGsには、目標達成のためのグローバルな指標が定められている。

POINT ② 国や企業をはじめ多くの組織や団体がSDGs達成へのアクションプランを定めている。

2015年の国連総会で採択された、SDGsのための2030アジェンダ前文には、「すべての国及びすべてのステークホルダーは、共同的なパートナーシップの下、この計画を実行する」とあります。「世界中の誰一人として取り残さない」発展目標を実現するためには、世界中のすべての人がパートナーシップを取る必要があります。

とはいえ、ゴールに達成したかどうかを測るには、具体的な指標が必要です。そこで国連統計委員会やSDGsに関する機関間専門家グループの検討と議論によって、各目標の進捗状況を測るグローバルな指標が決められました。

指標をもとに、国連が2017年に発表した進捗レポートによると、たとえば目標3「すべての人に健康と福祉を」に対しては「世界半数以上の国で人口千人あたりに外科医1人未満、看護師3人未満しかない」という状況で、目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」に対しては「家事や介護に費やす時間は、女性のほうが男性より3倍多い」という未達成な状況です。しか

しながら、SDGsには罰則規定はなく、目標達成は、各国が独自に策定する政策やプログラムにかかっています。

日本政府は「SDGs推進本部」を設置し、行政、民間セクター、NGO・NPO、有識者、国際機関、各種団体等で構成される「SDGs円卓会議」によって「SDGs実施指針」を決定しました。また日本経済団体連合会では、成長のためのアクションプランを定めてSDGsを実行しようとしています。その中には「外国人材の受け入れ」や「子育てに優しい社会の実現に向けた環境整備」などの各論から、「地方創生」「経済成長と両立する環境政策の実現」など、経済構造そのものに関わる課題まで多岐にわたります。

企業に所属しない人はいても、国あるいは地球に所属しない人はいません。ボーダレス化が進む今、「自分には関係ない」と思っていたことが、巡り巡って自分の生活に影響を与える社会だからこそ、SDGsのゴールを個人の生活の中にも取り入れる必要があるのです。

